

①iPad を活用した授業の工夫

【マッサージ実技での課題】 <ul style="list-style-type: none">・教科書を手元で見ながら実技内容を確認することが困難である。・手技の順番を覚えにくい。
【授業の工夫】 <p>自作教材（画面上に揉む順番、揉む場所、揉み方を書き、画面下に対応した写真をつけたスライドを作成）を作成し、iPad を見せながら授業を進める。</p>
【生徒の状況】 <p>生徒は、iPad 上で自分の見やすいように拡大し、実技を行うことができる。この教材は常時見ることができ、復習にも活用できる。</p>
【東洋医学概論での課題】 <ul style="list-style-type: none">・舌診等を行う際、その状態が見えにくい。（患者の顔等に接近しすぎる。）
【授業の工夫】 <p>カメラ機能を活用して顔や舌の状態を撮り、患者の状態を把握する。</p>
【生徒の状況】 <p>生徒は、患者に接近しすぎず、iPad 上で状態を把握し、診察することができる。</p>

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「B-291 特別支援学校（視覚障害）における教材・教具の活用及び情報の共有化に関する研究—ICT の役割を重視しながら—」（平成 26 年 3 月）、112 に記載された内容である。